

# 刈谷市 歴史 博物館 NEWS

Kariya city Museum of History NEWS

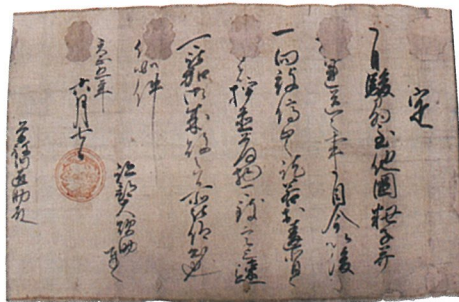
## CONTENTS

Next Exhibition [次回展示] -----	1
Description [解説] -----	2
Column [コラム] -----	3
Information [ご案内] -----	4

## Next Exhibition 次回展示

### 「収蔵品展～受け継がれた刈谷の名品～」

開催日 2021年1月16日(土)～2月14日(日)



▲ 武田家朱印状 (当館蔵)



▲ 自動地球儀時計 (当館蔵)

刈谷市では市民の皆様から寄贈、寄託された数多くの貴重な品々を保管しています。それぞれの家で大切に受け継がれてきた書跡や美術品、工芸品などは、刈谷の人々の教養の高さや文化への関心の高さ、先祖への敬意や代々の誇りを、長い時を経て私たちに語りかけてくれます。今回、いまだ展示したことがないそれらの「名品」の一部を、さまざまなジャンルから選りすぐり、皆様にお披露目します。

※記載内容は予告なく変更することがあります。

## 「関ヶ原合戦絵巻 全四巻」(徳川美術館所蔵)の場面紹介

10月3日(土)～11月15日(日)に開催した企画展「徳川家康の遺産～徳川美術館所蔵品で綴る～」では徳川美術館所蔵の水野家関係資料として、「関ヶ原合戦絵巻」を借用公開しました。「関ヶ原合戦絵巻」といえば、慶長5年(1600)9月15日に行われた関ヶ原の戦いをメインに描いたものであることは言うまでもないですが、今回の展示では合戦の行われる2カ月前、7月19日に水野忠重が池鯉鮒(知立)で斬殺された場面をご覧いただきました。関ヶ原の戦いと言えば、映画やドラマの題材として有名なエピソードはいくつも思い浮かびますが、この「関ヶ原合戦絵巻」ではどのような場面が描かれているのか、ここで紹介します。

### ■ 巻1 春

絵巻は石田三成ら、後に西軍に属することとなる武将の評定から始まります。起請文を起こし、豊臣秀頼の命令と偽って西国の大名らを集めます。中でも三成と親交の深かった大谷吉継は佐和山城の三成のもとを訪れ、語り合います。その後、三成は加賀井重望を呼び、情勢を調べるため駿府へ行くことを命じます。駿府へ向かう途中、池鯉鮒(知立)で堀尾吉晴と出会い、水野忠重との酒宴になり、忠重を斬殺、加賀井も堀尾に討たれますが、堀尾は水野家家臣から誤って取り囲まれます(今回展示の場面)。ここで場面は変わって、三成が諸大名の妻子を人質にとる場面へと移ります。人質を拒否した細川ガラシャが屋敷の中で命を絶つ場面も描かれています。

### ■ 巻2 夏

場面は進み、石田三成による伏見城攻めから始まります。伏見城攻めと言えば鳥居元忠の討死が有名ですが、ここではそれ以外にも弓の名手と言われた内藤家長、「家忠日記」で有名な松平家忠が憤死した様子も描かれています。続いて、細川幽斎(藤孝)が籠城する丹波田辺城攻めに移り、後陽成天皇の取りなしによって開城した場面で終わります。



関ヶ原合戦絵巻 四巻の内 春・部分 (左の女性が細川ガラシャ)

### ■ 巻3 秋

ここでいったん時が戻り、福島正則らが東軍に属することに決めた小山評定の様子となります。そして場面は信濃国へと移ります。ここでは、真田昌幸、幸村(信繁)が西軍へ、信之は東軍へ分かれて戦うことを決めた「犬伏の別れ」が描かれています。続いて織田信長の孫秀信が籠る岐阜城攻めとなり、池田輝政の活躍によって攻略に成功します。さらに場面は大垣城の東側にある合渡川の戦いへと進み、黒田長政家臣として参陣していた後藤又兵衛も描かれています。一方で、徳川本隊は上田城攻めに手間取り、西進が遅れていました。

### ■ 巻4 冬

最後の巻となり、いよいよ関ヶ原の戦いとなります。前半では、東西両軍の睨み合い、井伊直政・松平忠吉と福島正則による先陣争いが描かれています。中盤以降は、小早川秀秋の裏切りを経て西軍が崩れる様子を中心に、大谷吉継の自刃と西軍の退却が描かれ、最後は戦場に雨が降り、完結となります。

以上、全4巻を簡単に紹介しましたが、西軍の動向が詳細に描かれている一方で、家康は全く描かれていないという特徴があります。一方で、水野忠重が「信元」と記されるなど明確な誤りもあり、近世後期における関ヶ原の戦いの一般的な歴史認識を知ることでもあります。

(当館学芸員 長澤慎二)

## COLUMN コラム

## 刈谷 今昔ものがたり



1953（昭和28）年の刈谷駅北口



2019（令和元）年の刈谷駅北口

1953（昭和28）年に東海道本線を走る列車が蒸気機関車から電車で変わりました。これに伴って北口の駅舎が立て替えられ、駅前のロータリーも整備されました。駅周辺には、現在のような高層化した建物はまだ見られません。現在の駅舎は、1989（平成元）年に南北連絡通路の完成に合わせて建て替えられたものです。

刈谷市郷土資料館では、交通や公共施設、街の風景などをテーマにした刈谷市の移り変わりが分かるパネルを展示しています。刈谷市は2020年に市制施行70周年を迎えました。この節目の年に、展示を通して市の成長を感じていただければ幸いです。

（指導主事 中村雅至）

## 収藏品よもやま話 いがた 大砲の弾の鋳型

八幡町の宅地開発に伴い平成30年度に実施された発掘調査で、江戸時代の土屋敷跡の井戸跡から、大砲の弾の鋳型が大量に出土しました。土製で、多くは破片の状態でしたが全形をとどめるものもあり、形状は写真のもので直径23.2cm、厚さ10.5cmの白形で、内側が直径10.7cmの半球状にくぼんでいます。これを二つ合わせて、全球状の弾を鋳造していたと思われます。現在調査中ですが、山口県萩市の郡司鋳造所跡で出土しているものと類似しており、江戸後期～幕末のものである可能性があります。



大砲の弾の鋳型（当館蔵）

江戸後期には、異国船の度重なる接近に対して沿岸部の警備を増強するよう幕府から諸藩へ指示が出るなど、日本各地で攘夷の動きが活発になりました。刈谷藩においても、藩士の中嶋孫四郎を田原藩に派遣し、西洋式の軍学や大砲の製造方法を学ばせています。出土した鋳型も、攘夷の緊張感が高まる当時の刈谷藩の情勢の一端を示すものかもしれません。

（当館学芸員 鵜飼堅証）

# INFORMATION ご案内

## お知らせ

### 簡単工作

刈谷市歴史博物館では、土日・祝日に手軽に楽しめる簡単工作を行っています。歴史博物館らしく、歴史に親しめるメニューをご用意しています。



過去に実施したメニューの内、一部の作り方をホームページで公開中！

### 歴史体験講座

歴史を気軽に体験できる講座を月一回実施しています。内容は「水墨画体験」や「くみひも作り」など様々。この機会に挑戦してみませんか。



※事前申込制。詳細はホームページ等をご確認ください。

### 図書コーナー

歴史に関する本や子ども向けの学習漫画などを自由にお読みいただけます。新着図書も入荷しました。お気軽にご利用ください。



※館内でのみお楽しみいただけます。

### 販売物

- ◎ 「初代刈谷藩主水野勝成展」図録
- ◎ 「徳川家康の遺産」展パンフレット
- ◎ 中条遺跡発掘調査報告書 1～4巻
- ◎ DVD 刈谷偉人伝 1～6巻
- ◎ 復元・刈谷城ペーパークラフト
- ◎ 当館オリジナルクリアファイル 他



※ 歴史博物館受付にて販売中！

## カレンダー

2021															
12	日	月	火	水	木	金	土	1	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5							1	2
6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8	9	
13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16	
20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23	
27	28	29	30	31				24	25	26	27	3	4	5	
								31							
2	日	月	火	水	木	金	土	3	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5	6							
7	8	9	10	11	12	13		7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20		14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27		21	22	23	24	25	26	27	
28								28	29	30	31				

■ 収蔵品展 ～ 受け継がれた刈谷の名品～  
■ 休館日

## 利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

観覧料：歴史ひろば・お祭りひろば…無料

企画展示室…企画展ごとに異なります

## 交通案内

鉄道

JR 東海道本線 逢妻駅 から徒歩約15分  
名鉄三河線 刈谷市駅

バス

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」  
東刈谷線・逢妻線  
「刈谷市体育館」下車 徒歩約3分

お車

伊勢湾岸自動車道  
名古屋南 IC または豊田南 IC から  
約20分

編集・発行

## 刈谷市歴史博物館

KARIYA city Museum of History  
〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1  
TEL.0566-63-6100 FAX.0566-63-6108  
URL : <https://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>  
※ QR コードはデンソーウェブの登録商標です。

※ 記載内容等は変更することがあります。詳細・最新情報は当館ホームページ、または Twitter をご確認ください。



▲ 当館ホームページ



▲ 公式 Twitter